ものづくり通信

第１６１号

2020年 新年号

大阪府ものづくり振興協会　大阪市中央区本町橋２番５号マイドームおおさか６階　電話・06-4792-7897

2020 年　年頭所感

会長　木村　俊雄

新年明けましておめでとうございます。

旧年中はものづくり振興協会の活動に対し会員各位、関係行政機関、関係団体の皆様には多大のご協力、ご支援をいただき厚くお礼申し上げます。本年もなお一層のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

今年は令和の年号に変わって初めての新年を迎えることになりました。
平成の天皇陛下が４月３０日に退位され、新たに皇太子徳仁親王殿下が５月１日午前０時に第１２６代天皇に即位されました。皇位継承に伴う「即位の礼」の中心儀式で、天皇陛下が即位を内外に宣言される「即位礼正殿の儀」は、１０月２２日に皇居・宮殿で行われ、１１月１４日・１５日は皇居東御苑で「大嘗宮の儀」が行われました。皇位継承に関連した一連の儀式の中で１１月２８日には京都御所で天皇皇后両陛下主催の茶会が催されました。その茶会に大阪府ものづくり振興協会会長としてお招きにあずかり、両陛下に拝謁できましたことは大変光栄に思っております。

ところで昨年６月には日本で初のＧ20 サミット首脳会議がインテックス大阪で開催され大阪をＰＲするのには役立ちましたが、日本経済は米中貿易摩擦の影響を受け世界経済の長期停滞や日韓問題の影響を受け、企業の業績や収益にも陰りが見え始めました。
そのような中１０月には消費税が１０%になり、個人消費等にも落ち込みが見られます。
また昨年は東日本の台風や大雨の被害、沖縄の首里城消失など大きな災害も目立ちました。
ただスポーツ界ではラグビーワールドカップで初の８強入りを果たし、大坂なおみが全豪テニスを初制覇、ゴルフの全英女子オープンで渋野日向子が４２年ぶりに初優勝を果すなど活躍が目立ち我々に元気を与えてくれました。そしていよいよ今年の夏には東京オリンピックが開催され、海外からのインバウンドも増えるので景気も少し持ち直すことを期待したいと思います。
オリンピックのあとは大阪で開催される２０２５年国際博覧会に向かって経済が活性化し関西の発展に寄与してくれるものと思われます。

いずれにしましても大阪府ものづくり振興会としましては「OSAKA-MONO.net」のさらなる活用を目指し会員企業や組合の連携を深め、大阪のものづくりの発展に寄与していきたいと考えています。
また各種セミナーや工場見学会等を通じて情報発信を強化していくとともに、会員団体や傘下の企業様のスキルアップを図れるように努力していきたいとも思っております。
2020 年も変化の多い年になると思いますが、皆様にとって実り多い良い年になることを祈念しまして新年のご挨拶とさせていただきます。

2020年　年頭所感

近畿経済産業局長　米村　猛

令和元年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

平成から令和へと改元され、新たな時代の幕開けに日本中が大いに沸きたった昨年、関西地域の経済は、緩やかな改善が続きました。また、6月にはＧ２０大阪サミット、秋にはラグビーワールドカップが開催され、関西地域が世界から大きな注目を浴び、盛り上がりを見せました。

これから関西では、2021 年にワールドマスターズゲームズ、2025 年に大阪・関西万博が開催されます。世界から脚光を浴びるビッグイベントが開催されるこれからの数年間は、 関西の更なるグローバル化・活性化の絶好のチャンスです。ベンチャー企業や中堅・中小企業の積極的なチャレンジや地域ブランドを軸として、地域の魅力を磨き上げ、 関西全体の魅力が力強く全世界に発信されることが大いに期待されます。

近畿経済産業局では、本年、このように注目を集める関西地域の更なる発展のため、以下の 3 つのキーワードのもと、事業に取り組む所存です。

一つ目は、「ベンチャーエコシステムの機能強化」です。

関西では、国、自治体、大学、民間企業などでベンチャー支援が行われ、現在 1,000 社以上のベンチャー企業が存在し、 活動しております。

今後はベンチャー企業が成長し、大企業も含めてオープンイノベーションに取り組めるような環境を広げるベンチャーエコシステムの強化が必要となってまいります。

当局では、若者、女性などの起業支援の取組である「ＬＥＤ関西」、 「ベンチャー型事業承継」や製造業を核とした医療、バイオ、環境など幅広い領域に展開するベンチャー企業の発掘・育成に取り組むとともに、「関西ベンチャーサポーターズ会議」において、 自治体や支援機関と連携した、オール関西での全国への情報発信、全国の起業家・投資家等を関西に惹きつける取組に尽力してまいります。

二つ目は、「地域のポテンシャルを活かした海外市場・海外需要の取り込み」です。

関西は、歴史・文化・伝統など優れたオンリーワンの地域資源が集積している地域です。地域経済のグローバル化を進めるためには、 各地域が持つポテンシャルを活

用して、差別化・高付加価値化を図り、地域のブランド力を高めていく取組を実行していく必要があります。

そのために、 地域に近い存在である自治体や支援機関と協力して、 伝統技術や文化も含めた地域資源と地域団体商標などが上手く活用されるように、 それぞれの地域に適した鋭いブランド力強化の取組を支援してまいります。

三つ目は、「中堅・中小企業の支援」です。

関西には、 多くのポテンシャルの高い中堅・中小企業が立地しております。

AI、IoT をはじめとしたデータ利活用に関連した技術革新が進展し、Society5.0 の深化による経済社会の革新が進む中で、 当局としても航空機、ヘルスケア、新素材、３Ｄプリンタなどの新しい分野を切り開く企業を積極的に支援してまいります。

また、 中小・小規模事業者対策として、後継者不足、 自然災害への対応力強化、人手不足、生産性向上といった課題を抱えている企業の経営基盤強化を支援します。具体的には、世代交代の時期を迎えている企業の事業承継の円滑化を促進していくとともに、 自然災害等に負けない体制を整備するための事業継続力強化計画の策定支援などに取り組んでまいります。

加えて、 持続可能な社会を実現するためにＳＤＧｓやスマートエネルギーの取組も推進し、関西経済の更なる強化へと結びつけてまいります。

以上申し上げたキーワードは、 別の見方をすると「2025 大阪・関西万博」に直接繋がっています。メインテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」と「未来社会の実験場」のコンセプトで、5 年後に訪れる万博に向けて、今年は関西の力を結集する初めの年、 丁度十二支の初年の子年です。

当局職員全員はもとより、関西のできるだけ多くの方々と「ONETEAM」となってベクトルをあわせ、関西経済の更なる活性化を目指してまいりましょう。

結びに経済産業行政への御理解と御協力をお願いするとともに、皆様の御多幸と御健勝を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

2020 年　年頭所感

大阪府知事　　吉村　洋文

新年あけましておめでとうございます。

昨年４月の知事就任以降、大阪市長としての経験も活かし、成長をさらに加速させるとともに、大阪の成長が府民の皆さまの豊かさにつながるよう、府政を前に進めてきました。昨年は、G20 大阪サミットの成功や、百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録を通じ、世界の中で大阪の存在感を示す基盤が整いました。東京オリンピック・パラリンピックが開催される今年は、大阪にとっても未来を決めるターニングポイントです。日本の将来に大きなインパクトを与える 2025 年大阪・関西万博や統合型リゾート（IR）の準備に万全を期さなければなりません。また、新たな大阪の都市の形を問う大阪都構想について、年内の住民投票をめざしています。

大阪都構想とは、広域行政の司令塔を大阪府に一本化し、都市インフラの整備などにスピード感をもって進めることにより、大阪の成長を加速させるとともに、住民に近い特別区を設置し、よりきめ細やかな住民サービスを提供することをめざすものです。大阪の持続的な発展には不可欠な制度であり、皆さまの理解を得て大阪都構想が実現するよう、全力を注ぎます。こうした制度面での取組みとあわせて、政策面からも、成長と安全・安心のよき循環をゆるぎないものとしていきます。2025 年万博を、世界中の人が驚く、未来社会を先取りしワクワクする万博にするために、地元パビリオンの出展などの準備を本格化させます。万博のテーマである「いのち輝く未来社会」は、「誰ひとり取り残さない持続可能な世界の実現」をめざす、まさに SDGｓが達成された社会です。ますます高齢化が進む大阪において誰もがいきいきと長く活躍できる「健康寿命の延伸」や「10 歳若返り」の実現、子どもの貧困対策、サミットで共有された「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」を踏まえた海洋プラスチックごみ対策などに取組み、世界の先頭に立って、SDGｓに貢献する先進都市をめざします。最先端技術のショーケースとなる万博の開催や超高齢社会の進展を見据え、AI、IoT などの先端技術を活用し、府域全体のスマートシティ化を進めます。住民に近い市町村と地域課題を解決できる民間企業をつなぐことにより、住民の生活の質（QoL）の向上や都市機能の強化を図り、豊かで利便性の高い都市生活の実現をめざします。万博会場でもある、大阪・夢洲に、世界最高水準の成長型 IR を実現するため、いよいよ今年は、事業予定者を選定していきます。あわせて、ギャンブル等依存症などの懸念事項への対策に万全を期し、大阪が確実に国によって選ばれるよう、最善を尽くします。

健康・医療関連産業の世界的なクラスター形成をめざし、彩都、健都に続き、中之島４丁目において未来医療国際拠点の形成を進めています。拠点の運営法人を民間企業等とともに設立したところであり、引き続き、拠点機能の具体化を図ります。加えて、革新的なイノベーションにより大阪産業の成長を担うスタートアップへの支援にも力を注ぎ、さらなる成長軌道への押し上げを図ります。将来を担う人への投資である教育は、無償であるべきというのが、私の考えです。一人ひとりの子どもたちが置かれている環境に関わらず、進学をあきらめることなくチャレンジできるよう、そして大阪で子育てをしている世帯への支援として、今年４月から、大阪府立大学・大阪市立大学の授業料などを無償化する制度を開始します。既に私立高等学校の授業料無償化は実施しており、大阪の子どもたちには思う存分チャレンジしてほしいと思います。　持続的な成長のためには、府民の皆さま一人ひとりの生活が充実することが不可欠であり、その基盤となるのが安全・安心の確保です。府内の児童虐待相談対応件数は増加傾向にあり、全国的には虐待による死亡事案も発生している中、子どもの命を守ることは喫緊の課題です。虐待の予防、早期発見、子どもの保護や保護者の支援など、オール大阪で「重大な児童虐待ゼロ」の実現をめざします。

あわせて、性別や年齢、障がいの有無、国籍などに関わらず、誰もが安心して暮らし、生涯を通じて心身ともに健康で活躍できる環境整備を進めます。昨年制定した条例に基づき、性的指向及び性自認の多様性に関する理解の増進や、ヘイトスピーチの解消の推進に取組みます。近年、地球温暖化といった気候変動の影響により、災害が激甚化しており、昨年も度重なる台風などにより、全国で大きな被害が発生しました。いつ起こるか分からない災害に備え、着実にハード対策を進めるとともに、昨年導入した災害モード宣言の運用などのソフト対策を組み合わせ、災害対応力を高めていきます。

2025 年、そして、その先の将来に向けて、「世界の中で躍動し、成長し続ける大阪」の実現をめざしてまいります。皆さまの一層のご理解とご協力をお願いいたしますとともに、本年が皆さまにとって実りあるすばらしい年となりますようお祈りいたします。

令和元年度　工場見学会のお知らせ

今年度は、足を延ばして～　MRJ（現スペースジェット）へ工場見学会を下記で予定しておりますので、多数のご参加よろしくお願いいたします。

◆ 日時：令和2年2月13日（木）９時集合（マイドームおおさか玄関前）
◆ 場所：・あいち航空ミュージアム　愛知県西春日井郡豊場
　　・MRJ ミュージアム　　〃
◆ 参加人数：先着３０名
◆ 参　加　費：９，０００円　(バス＋保険＋昼食代込み)　　1/24 締切

企業啓発研修・相談会＆事務局長会議

今回は、中小企業・団体事務局へのセミナーです。
①「働き方改革の対応のポイント」令和２年４月１日から中小企業も対象とされる「年次有給休暇の取得」、「産業医・産業保健機能の強化」等についても、分かりやすく解説します！　個別相談会も行います。
②　団体事務局長会議も行います。

◆ 日時：令和2年2月6日（木）１３：３０～17：００
◆ 場所：マイドームおおさか４階会議室

協会より

令和元年度秋　国家栄典（叙勲・褒章）

種別	氏名	役職名
旭日小綬章	吉川　一三	日本カーペット工業組合　理事長

長年にわたり業界発展の為に功績が認められ表彰されました。
誠におめでとうございます。　　＜敬称略＞

◎　**令和元年度大阪府憲法記念日知事表彰について**
ご推薦いただきました産業功労者９名の方々を大阪府へ進達しました。

◎　**令和２年 新年交流会の開催**
月日：１月２７日（月）
場所：ヴィアーレ大阪
時間：一部　17:00～　なにわの語り部 ／ 栗本智代氏
　　二部　18:00～　交流会　　＊　皆様、多数ご参加下さい！

事務局より

【訃報】　近畿石鹸洗剤工業協同組合理事長　西本　博様が令和元年 12 月 10 日に、ご逝去されました。
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。